

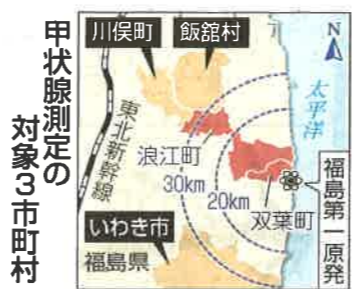
話題の発掘 ニュースの追跡

東京電力福島第一原発事故の幕引きは発生から1カ月足らずで始まっていたのか。本紙が情報開示請求で入手した文書には、国が2011年4月8日の段階で避難者の放射線被害を否定する見解が記されていた。やはり、というべきか。既に報じてきたように、国は同年3月末で甲状腺内部被ばくの測定を早々に打ち切り、被ばくの実態から目をそらした。このころにやるべき作業は、乏しいデータから結論を無理やり導くこと、ではなかったはずだ。(榊原崇仁)

結論ありきか 国の避難者支援班文書

特報

「(放射線被害が)分かります」といって続けるのは無責任という話がある。避難者の方々の不安を解消するため、ひどいことになつていないと伝えよう」と語ったのは、測上善弘氏。当時、原子力被災者生活支援チームにいた。問題の「最初の爆発から二日あまりで二十〇〇〇圏外に避難すれば、線量は十分少なく健康上問題無い」という内容の文書を作った。つまり、文書は彼らなりの寄り添いだっただけのこと。しかし、丁寧に被ばくの状況を調べないまま問題なしと判断する方が、よっぽど無責任だったのではないだろうか。支援チームは、測上氏が



原発事故1ヵ月「幕引き」準備 経産省 強い意図?

いた経産省の官僚を中 心にした特命班だ。事故から二週間あまりたった三月二十九日、国の原子力災害対策本部の下に発足した。今に至るまで活動を続け、何かと物議を醸してきた。結論ありきが疑われた福島県の県民健康管理調査が始まった際に携わり、事故から数年がたつと、避難指示が解除された地域への帰還を促してきた。「安心の押しつけ」と非難されたりスクロムコミュニケーションの旗振り役でもある。支援チームが産声を上げた直後に取り組んだのが、被災者の被ばく線量の分析だった。発足から六日後の

Timeline of events from March 11 to May 2, 2011, detailing evacuation orders, explosions, and government actions regarding radiation measurement and evacuation zones.

詳しく調べず「問題なし」 採られなかったデータ

「国の出先」言えない空気



弘前大の床次真司教授らによる甲状腺の被ばく測定の様子(2011年4月、福島県(床次教授提供))

「避難者は健康上問題無い」と評価が示された。四月八日の段階で、本来は何をすべきだったのか。先にも触れたように、国が三月下旬に行った甲状腺測定は対象地域が原発の三十〇〇圏外で、調べたのが千八百人のみ。地域的な偏りがあり、数も少ない。国の指示で二十〇〇〇圏外に避難した人らは、そもそも調べていない。逃げ遅れた人がいた可能性が高いのに、この人たちの測定せず、問題ないと判断する。被ばくの全像を掴むため、多くの人を測定すべきだった。彼らは「一緒にいた放射線医学総合研究所(放医研)の専門家からそう聞いた」と語る。山田氏自身も〇八年二月の原子力安全委員会の合意で、事故時にスペクトロメータを使うよう勧められていた。しかし放医研がこの機器で被災者の甲状腺測定に動くことはなかった。「他から北西に三十〇〇〇ほど離れた浪江町津島地区などで六十二人を調べた。高精度の機器、スペクトロメータを当時の対応を巡って複数使った。甲状腺の内部被ばくは多い人で三〇〇〇と発

「避難者は健康上問題無い」と評価が示された。四月八日の段階で、本来は何をすべきだったのか。先にも触れたように、国が三月下旬に行った甲状腺測定は対象地域が原発の三十〇〇圏外で、調べたのが千八百人のみ。地域的な偏りがあり、数も少ない。国の指示で二十〇〇〇圏外に避難した人らは、そもそも調べていない。逃げ遅れた人がいた可能性が高いのに、この人たちの測定せず、問題ないと判断する。被ばくの全像を掴むため、多くの人を測定すべきだった。彼らは「一緒にいた放射線医学総合研究所(放医研)の専門家からそう聞いた」と語る。山田氏自身も〇八年二月の原子力安全委員会の合意で、事故時にスペクトロメータを使うよう勧められていた。しかし放医研がこの機器で被災者の甲状腺測定に動くことはなかった。「他から北西に三十〇〇〇ほど離れた浪江町津島地区などで六十二人を調べた。高精度の機器、スペクトロメータを当時の対応を巡って複数使った。甲状腺の内部被ばくは多い人で三〇〇〇と発

複数内部告発 放医研の苦悩

線医学総合研究所(放医研)の専門家からそう聞いた」と語る。山田氏自身も〇八年二月の原子力安全委員会の合意で、事故時にスペクトロメータを使うよう勧められていた。しかし放医研がこの機器で被災者の甲状腺測定に動くことはなかった。「他から北西に三十〇〇〇ほど離れた浪江町津島地区などで六十二人を調べた。高精度の機器、スペクトロメータを当時の対応を巡って複数使った。甲状腺の内部被ばくは多い人で三〇〇〇と発